

数学

大阪大学〔文系〕(前期)

＜全体分析＞		試験時間	90	分	解答問題数	3	題
解答形式 記述式 分量・難易（前年比較） 分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加） 難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化） 出題の特徴や昨年との変更点 特になし。 その他トピックス 2は理系2と共通問題（昨年度は平面ベクトルの問題が共通問題であった）。							

＜大問分析＞

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
1	数列 対数	数学B 数学II	隣接三項間漸化式で定義される数列の一般項 対数の性質	標準
2	空間ベクトル	数学C	4点が同一平面上にある条件 ベクトルの大きさの最小値	標準
3	微分法・積分法	数学II	定積分を用いて定義される関数の最小値	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

＜学習対策＞

まずは標準的な問題を中心に、余裕が出てきたら少し難度の高い問題も含め、広範囲に訓練を積みたい。近年はタフな計算力・論述力も要求されるようになってきているので意識しておこう。
--